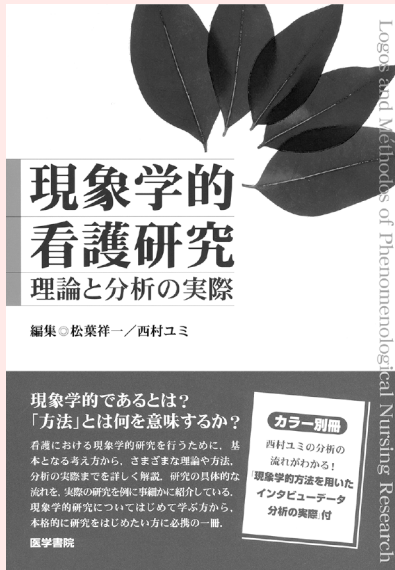




現象学的看護研究

理論と分析の実際

松葉祥一・西村ユミ＝編集

本体 3200 円＋税

医学書院 ☎ 03-3817-5657

「現象学的研究の目的は『生きられた体験』を明らかにすること（「はじめに」より）。看護研究における質的研究の基盤に現象学を据え、現象学の歴史と現状を紐解きながら、ほかの質的研究との違いを解説する。『生きられた体験』の記述に迫る現象学的「方法」は、現象に注目した研究者の手によって生まれる。第3部に、西村の行なった研究の計画からデータ分析までの道のりを詳述。現象学的看護研究の入り口に立つ人、その山に登ろうとする人たちに貴重な道しるべとなる。」

現場で使える介護記録便利帖 〈書き方・文例集〉

浅岡雅子＝著

本体 1500 円＋税

翔泳社 <http://www.shoeisha.co.jp>



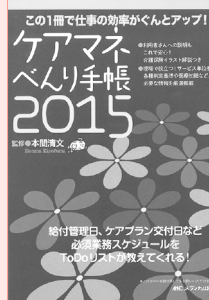
施設での高齢者の日々の様子やケアについて記述される「介護記録」は、利用者の変化の徴候をケア提供者が共有するためにも欠かせない。「どんなことを書いたらいいの?」に、さまざまな介護シーンでの着目点を例を引いて答え、さらなる充実を図るポイントを10に絞った指南も。

ケアマネべんり手帳 2015

本間清文＝監修

本体 1400 円＋税

メディカ出版 ☎ 0120-276-591



誰もが認めるケアマネさんの膨大な仕事量。その毎日を支える「べんり手帳」。月間予定と週間予定をそれぞれ見開きで一覧でき、よりきめ細かい項目まで1冊に収められる。加えて、必須業務スケジュールを、月ごとの「ドリリスト」と、日ごとの「リマインダー」でサポート。来年度の介護報酬改定にもホームページで即応。

介護福祉教育原論

介護を教えるすべての教員へのメッセージ

介護福祉指導教育推進機構＝監修

本体 1500 円＋税

日本医療企画 ☎ 03-3256-2861



高齢社会を迎え、ケアの個別化・多様化が進むなか、高齢者の日常を支える介護職に求められる能力も多様化・高度化の道をたどっている。介護職の質向上をめざす介護福祉指導教育推進機構の中核メンバーが、介護の本質、専門職としての職業観、教育者像についてとことん語り合った3つの座談会で構成される、人々を支えるプロを育てるための1冊。

介護経営白書 2014-2015 年版

介護の使命と将来像 地域包括ケア時代の「人づくり」

江草安彦、他＝編集

本体 4000 円＋税

日本医療企画 ☎ 03-3256-2861



今回の特集テーマの1つは、喫緊の課題「介護人材不足」「人づくり」を核に、8つの観点から問題解決策を探る。介護福祉分野における教育体制の整備、経営者や介護現場でがんばる職員が報われる制度をと、働きやすい職場の用意を訴える声がうれしい。地域ニーズを踏まえた先進事例の数々、「息子介護」「ロボット介護」などの新しい視点も。

未来につなぐ療育・介護労働 生活支援と発達保障の視点から

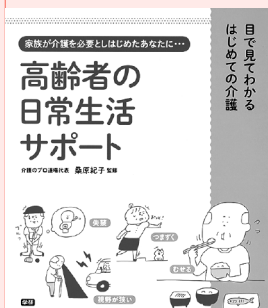
北垣智基、鴻上圭太、藤本文朗＝編著
本体 2200 円＋税
クリエイツかもがわ ☎ 075-661-5741



わが国で半世紀の歴史をもつ重度心身障害児(者)の療育と、公的支援の根つきつつある高齢者支援。どちらも基本理念は「その人らしい」暮らしを支えることだ。しかし長らく接点をもたなかったその境界がオーバラップする今、改めて「生活支援と発達保障」を軸に療育と介護の相互応用を考え、福祉文化「生の協働ネットワーク」の構築をめざす。

〈目で見てわかるはじめての介護〉 高齢者の日常生活サポート

桑原紀子＝監修
本体 1200 円＋税
学研教育出版 ☎ 03-6431-1250



目で見てわかる
はじめての介護

平均寿命と健康寿命の10年の差をどう過ごすのか。日常生活での転ばぬ先の杖、「いつもと違う」の発見ポイント、症状別の対処法、「お困り」解決法、機能低下の予防法を、わかりやすく解説。高齢ゆえに起こるさまざまなイベントはあっても、日常を気持ちよく過ごしてもらうために。

つるかめ食堂 子が親に作りおくごはん

ベターホーム協会＝編
本体 1400 円＋税
ベターホーム出版局 ☎ 03-3407-4871



家庭料理のプロであり、「いつまでも健康でいたい」と願う中年期の「つるかめさん」が、実際に親世代の食事の世話をしたノウハウを集めた「親孝行レシピ」の第2弾。栄養バランスを考えながら、食べやすさを工夫し、つくりおきの方法などを紹介。巻末の「食べやすくなるくふう」の100の知恵には、親世代の食事を支えるヒント満載。

感情労働としての介護労働

介護サービス従事者の感情コントロール技術と精神的支援の方法

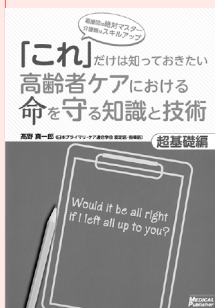
吉田輝美＝著
本体 5000 円＋税
旬報社 ☎ 03-3943-9911



介護現場で表に出ることのなかった働き手の「傷つき」と「ストレス」。その存在とありように光を当てた調査・研究結果と、働きやすい環境づくりの提言の書。コミュニケーション能力を養い、誰もが自己肯定感をもって働ける現場づくりとマネジメントまでを視野する。

「これ」だけは知っておきたい 高齢者ケアにおける命を守る知識と技術 〈超基礎編〉

高野真一郎＝著
本体 1800 円＋税
メディカルパブリッシャー ☎ 03-3230-3841



「看護師は絶対マスター、介護職はスキルアップ」のノウハウを、高齢者ケアに重要なバイタルサインの見方から看取りまで、看護職と介護職それぞれに重要度の目安をマークし解説する。あとがきの「絶対に知らないままにしないでください」のメッセージ。しっかり受け止めたい。

点滴はもういらない 最期を決める覚悟とタイミング

佐々木淳、小川利久、下河原忠道＝著
本体 1500 円＋税
ヒボ・サイエンス出版 ☎ 03-5855-8505



在宅医と特養ホーム施設長、サ高住運営者による看取りの本。「看取り」とは死に方のことではありません。死ぬのを待つことでもありません。死ぬまでをどう生きるか、それをどう支えるか、ということです」(本文より)。高齢者と家族への支援を惜しまない3人の「生き方」を選ぶのだという声に実感がこもる。